

2月定例議会

～不正経理、また 閉ざされようとする伏魔殿の扉～

2月26日午後1時～ 「市民ネット・社民・無所属会派室」の代表質問に小宮清子さんが立ちました。

定例議会開会の直前、会派の議員にA4で7ページに及ぶ内部告発文が届きました。それを事前に知事に渡した上、告発文の一部を読み上げての小宮議員の質問に対して、あの1997年の沼田県政時代と同様に蓋をしようとしています。

1997年、内部告発文について実態調査を求める県議会での質問に対し、**沼田元知事**は「匿名文書で、公式の場でお答えすることは適当でない」と答弁し、蓋がされました。

2010年2月26日、内部告発文に対して、**知事は応えず、小宮総務部長**が「1部、調査の必要があったので、確認したところ、県の内部調査ですでに不正は無かったとのこと」とし「調査を行うつもりは無い」と言明。

知事は「膿を出し切る」と言われたのに、この告発文の中には膿がいっぱい。このまま蓋をしてしまったら、沼田元知事よりひどいと思います。

さらに、「文書には不正が行われた**日時や場所などが記されておらず**、客観性、具体性に欠ける」との発言も。(読売新聞より)

小宮さんは森田知事に答弁を求めたのに、どうして総務部長が答えるの？ 森田知事は、マリオネット？

内部告発文(抜粋)

- ・ 不正な経理操作の方法
- ・ 生み出された裏金の信じがたい使い道(部課長の出張時の宴会・某課幹部への内部接待や濃厚なゴルフ接待・議員接待ゴルフ・県庁記者クラブの接待などなど)
- ・ ばれそうになると もみ消そうとした文書保存規程の改正
- ・ 内部通報に対する総務課人事当局の苛烈な追及(顕名での告発は人事の制裁と露骨な嫌がらせ人事)
- ・ 白戸前副知事、石渡現副知事の責任(長年、不正経理を間接的に促進してきた財政課長ポストを歴任)
- ・ 逮捕・懲戒免職の表立ったこと以外に個人的な飲食、接待の実情 などなど

膿を出し切らず、また、重く、厚い扉に閉ざされようとしている伏魔殿の扉。このままでは、この扉を開くのは、何時になるのでしょうか？

2月26日午後1時～2時ごろまで、本会議に12名の自民党議員が着席していませんでした。丁度、その時間、バンクーバーオリンピックの女子フィギュアスケートフリーのメダル争いの放送時間でした。